



一中だより

学校教育目標 自主・練磨・敬愛

目指す学校像「笑顔と活力あふれる学校」～一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばす～

「リアル」

校長 岡島 一恵

まだまだ暑い日が続く中ですが、本日、二学期の始業式を迎え、川越第一中学校に生徒たちの元気な姿が戻ってきました。一中の子ども達が、大きな事故なく、夏休みを過ごせたこと、そして、家庭・地域へ帰って、ひとまわり大きくなって学校へ戻ってこられたこと、保護者や地域の皆様に深く感謝申し上げます。

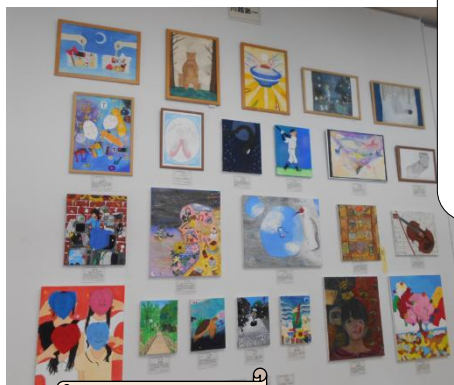
今年の夏は、夏季休業に入っすぐの熊本地震、千葉の豪雨による災害等、日本において甚大な自然災害が多く発生しました。尊い命が失われ、今もなお避難所などで不自由な生活を強いられている方も多くいらっしゃいます。当たり前のように過ごしている日常の有難さ、自然災害の恐ろしさ、命の重みについて、例年以上に強く考えさせられる夏となりました。亡くなられた方に深く哀悼の意を表すると共に、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

私は、夏季休業中に、仕事においてもプライベートにおいてもアクティブに活動し、色々な所に行き、色々な人に会い、実際に見て、聴いて、色々な想いをもちました。PCやAIも便利に活用していますが、リアルでの体験程、心に響き、仲間との一体感を生み、新しい考えや発想に繋がると改めて感じた夏でした。三学期の内、一番長い二学期、川越第一中学校の生徒たちが、日々の授業や学校生活のリアルの中で、様々な経験をし、自分の「よさ」に気付き、更に成長していけるよう、今学期も教職員一同、協働の精神で全力で教育活動に臨んでまいります。保護者・地域の皆様と共に、今まで以上に「双方向のコミュニケーション」を図り、「相互理解」のもと、「協働」して子ども達の育成に取り組んでいきたいと考えております。どうぞ、今後ともご理解・ご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

吹奏楽コンクール



去る7月28日に所沢市民文化センターにおいて実施された埼玉県吹奏楽コンクール西部地区大会Aの部に吹奏楽部が出場し、銀賞を受賞しました。



美術部展

川越市美術館で開催された美術部展に美術文化総合部の作品が展示されました。〇〇〇〇さんが実行委員会奨励賞、〇〇〇〇さんが優良賞を受賞しました。



第2学期始業式式の言葉

いよいよ今日から二学期が始まります。大きな事故やけがも無く、こうして、二学期の始業式が迎えられたこと、心から嬉しく思います。さて、長い夏休み、皆さんはどのように過ごしたのでしょうか。部活動に打ち込んだ人、自分の好きな趣味、興味のある勉強に没頭した人、家族や友人と大切な時間を過ごした人、3年生はいよいよ本格的な受験勉強をスタートさせた人…。それぞれ、実りある、いい時間を過ごしたことと思います。でも、同時に、大変胸の痛むニュースも相次いだ夏でもありました。夏季休業に入ってすぐの熊本地震、千葉の豪雨による被害等、日本において甚大な自然災害が複数発生しました。尊い命が失われ、今もなお避難所などで不自由な生活を強いられている方もいらっしゃいます。当たり前のように過ごしている日常の有難さ、自然災害の恐ろしさ、命の重みについて、例年以上に強く考えさせられる夏となりました。亡くなられた方に深く哀悼の意を表すると共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。そして、私たちにできることは、何よりも、自分や周りの人の命を大切すること、こうして学校に通える、仲間と共に学べる一日一日を感謝の気持ちをもって、大切に過ごすことだと思います。さて、私自身のことを話します。この夏、私自身にとって「学び」と「発見」に満ちた多くの出来事がありました。特に、深く、心に感じたことは、「自分の目で見て、実際に人と話し、聴き、心で触れる」リアルな圧倒的な力です。1つは、演奏会です。最近ホールに出向くことなく、ユーチューブで、ホール以上の集客により有名な音楽家の演奏を聴くことが可能で、私もよく利用します。ただ、実際に自分の身をコンサート会場に置き、その空気感を味わい、演奏者の表情、生の音を、自分の目と耳と心で聴くことほど感動的なものはないと改めて感じました。また、大阪の中学校へ視察に出かけました。他の自治体の、他校の取組について、実際に現場に行き、学校を見て、現場の校長先生方と話をすることにより、教育の在り方について、深く考えさせられました。私達教職員は、日頃から学校や他の機関で研修により学んでいますが、特に夏季休業中はその機会が増えます。その一つ、川越市全体で実施した研修では、北朝鮮による拉致被害者である蓮池薫さんをお招きし、直接話を伺いました。教科書やニュースの文字だけでは決して伝わらない言葉の重みとリアリティに息を呑み、平和や人の尊厳、命の大切さについて、改めて深く考えさせられるほど、心が揺さぶられました。最後に、今年度も実施された「少年の翼」での北海道中札内村訪問や広島市の平和祈念式典に、代表として参加した生徒の皆さんの報告会を聴き、胸が熱くなりました。実際に現地に行き、その場の空気を吸い、人と出会い、話合い、心で感じた皆さんの言葉には、実感を伴った強い思いがこめられていて、ただ知識を得るだけでなく「見て、感じて、考えた」からこそ生まれた思いが感じられました。校内の報告会を期待するとともに、その経験を必ず学校生活に活かし、本校へ還元してほしいと思います。「実際に見る」「人と話し合う」「心で感じる」「自分で考える」このプロセスを通した学びは、ワクワクし、心を豊かなものにするだけでなく、「こうしてみたい」「もっと知りたい」という新しい挑戦への思いや未来への展望が沸き上がってきます。さあ、今日から2学期が始まります。行事や授業等において、実際に経験したり、本物に触れたり、仲間と話し合ったりして協働する機会が、沢山転がっています。どうか皆さんも、スマートフォンやパソコンの画面の中だけの情報に捕らわれることなく、自分の足で情報を掴み、目で見て確かめ、感じ取り、先生や仲間と話し合い、心を大きく動かしてください。川越第一中学校の皆さんが沢山の「感動」と「気付き」に出会い、新しい目標に向かってワクワクしながら挑戦できる二学期となるよう期待し、式の言葉とします。

広島平和記念式典中学生派遣事業



川越市少年の翼事業

